

# 悪役になれなかった追放令嬢は甘く優しく蕩かされるの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

調査目的	悪役になれなかった追放令嬢は甘く優しく蕩かされるの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	悪役になれなかった追放令嬢は甘く優しく蕩かされるを読んだことのある20代～40代の男女10名
調査期間	2025年2月6日～2025年2月8日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	<a href="https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/akuyakuninarenakattatuihoureizyoushouhaamakuyasasiku/">https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/akuyakuninarenakattatuihoureizyoushouhaamakuyasasiku/</a>

## ■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 悪役になれなかった追放令嬢は甘く優しく蕩かされるを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	1名
30代女性	2名
40代女性	3名
30代男性	2名
40代男性	2名

Q2: 悪役になれなかった追放令嬢は甘く優しく蕩かされるの面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

絵がとても綺麗で読みやすくとても私に刺さった作品です。

濃厚なシーンの描写はこっちがドキドキするような、でも激しすぎず最高です。ヒロインの表情とセリフ、身体のスタイルのよさは本当に最高です。

この作品は続編だったと知り前編もしっかりみてきましたが全てがつながると1000倍楽しい作品です。

彼と結ばれて欲しかったが報われない悲しさ...

これでよかったのかもしれないができることなら出てくる人全てが幸せになるエンドも見てみたいなと思ってしまいました。

何度読み返しても作者の世界観に引き込まれてしまう素敵な作品でした。

自分から何もかも奪った伯爵に助けられ、必ず復讐を遂げてやると息巻いて屋敷で暮らすことになるも、伯爵の息子であるミシェルと同じ時を過ごすうちに、お互いに惹かれ合っただけで付き合うようになるどころに、立場を超えた純愛を描いていると思ったら、とつぜん現れたアイゼに連れ去られてしまうところにワクワクしました。彼から記憶の奥に眠った香りを思い出し、そこからアイゼの苦勞と深い愛を知っていくところに、これは愛の傑作なのではないかと思ってしまいました。

なおちゃんNTRやまゆちゃんNTRと同じ作者様の作品という時点で、もう大勝利は確定していました。何より前作がとても良かったので待望していた2作目。お話としてはこれで完璧な終わりなのでしょうが、良すぎたからこそまたしても続編を希望してしまうのはわがままでしょうか。今回登場した黒髪の彼が主役になるスピンオフがとても見たいです。そのくらい大満足の内容でした。

ストーリーが凄くファンタジーチックでたまらないです。ヤンデレなストーリーだから読んでいて凄くはまってしまいます。伯爵子息に囚われて教育されちゃう系のストーリーだから男性の人だけじゃなくて女性の人もきつとドキドキしちゃうこと間違いありません。

めっちゃ良かったです！最初は「よくある追放令嬢ものかな？」と思ってたんですが、読み進めると全然違いました。ステラが最初は復讐しようとしてたのに、ミシェルやシュヴェフ家のみんなと過ごしていくうちにどんどん変わっていく感じがすごく丁寧に描かれてて、読んでるこっちもどんどん心が和みました。ミシェルは最初ちょっと頼りない感じだったのに、最後はめちゃくちゃかっこよくなっててすごく良かったです。ステラを大事に想ってるのが伝わってきて、「もうこのまま幸せになってくれ！」って何度も思いました。でも問題はアイゼです。ステラを愛してるのに報われなくて、それでも悪役を演じる彼がかっこよすぎて、途中からミシェル派かアイゼ派か分からなくなるくらいでした。ストーリーの完成度もめっちゃ高く、甘々なシーンもありつつ、シリアスな部分もすごくしっかりしてて最後まで飽きずに読めました。ステラの正体が明かされるどころとか、めちゃくちゃドキドキしました。

前作がお気に入り作品の1つなので、続編が出てとても嬉しかったのですが、序盤を読んでステラとミシェルが正式に結ばれてラブラブ甘々が始まるのだと思っていたら、突然いかにも危険そうな雰囲気をもった男性が登場して血なまぐさい展開になり、さらに伯爵家の娘だったはずのステラの隠された素性が判明するという怒涛の流れにびっくりしました。しかし前作以上にドラマティックでとても面白かったです。

山本ともみつさんの描くがっちりした体型の大柄な男性と小柄でやわらかそうな可愛い女の子の組み合わせが大好きなので、本作は体格差カップリングが2パターンも楽しめて大満足でした。大型のわんこっぽくて甘えたがりなミシエルの溺愛執着もときめくのですが、ミステリアスで影のあるアイゼの自己犠牲を厭わない献身的な深い愛情が非常に切なく胸が苦しくなるほどで、過去エピソードは思わず

ウルっときてしまいました。

イラストが美しく、ヒロインの抜群のスタイルに心惹かれます。父親の仇なのに好きになってしまう。そんなつらい恋のストーリーは面白いと思います。そしてそんな複雑な気持ちを抱えながら少しずつ互いに愛を育んでいた二人。かなり強引な展開ですが、それだけ愛されるなんてうらやましい。甘く優しく壊されるというタイトルにも惹かれました。

ステラを中心に物語が運ばれていくのですが、本当に興味深い展開が山積みで面白いです。まず幼少時代に領地を奪われたステラがその元凶であるシュヴェフ家に偶然引き取られるというのがある種とても運命的ですね。恨みを晴らすチャンスを狙っていたステラなのですが、やはり近くで生活するうちにシュヴェフ家に愛着が湧いてしまう姿がなんだか人間的で非常に面白かったです。シュヴェフ家の嫡男であるミシェルとも親しくなったりと先の展開がどうなるのか気になって仕方がありません。

作中、ステラが嫡男であるミシェルと恋人関係になったところで突然謎の男が現れステラを連れ去ってしまうのでその怒涛の展開がすごく面白いですね。この男は何故かステラの過去について詳しく知っているようで、謎が謎を呼んでいる流れが最高にドキドキします。作中、ステラと謎の男が絡むシーンがあるのですが、そこでこの男に何故か懐かしさを感じてしまうステラの内面も必見です。物語がいいテンポで進んでいくのですごく没入感を抱けること間違いなしです。

## 漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス